

—公証機能である銀行借款に噛み付いてる検察の超逆さま!!

2010/2/5

陸山会政治資金収支報告書に虚偽記載は存在しない<図解>—

師匠田中ロッキド以来の30年以來、その周囲に疑獄多数を見てきた小沢氏は敵正体を熟知する故に、資金移動では細心に公証性を確保、ところが検察はそれに噛み付いた。2009/3空振り西松疑獄につづく1/15陸山会疑惑も、担当元秘書3名は白だろろう。

[1]: 土地購入者は陸山会でなかった事が本件理解の鍵。

(1)小沢氏が不動産を購入するにあたって、陸山会の定期預金を担保とし、銀行から融資を受けるというやり方も、石川氏の供述によれば「陸山会の慣習」であり、公私のけじめを記録として残すために行われてきたものです。

*参考サイト:「虚偽記載」は存在しない<ミス、不明?箇所もある点に注意>。

<http://www.asyura2.com/10/senkyo79/msg/440.html>

(2)不動産屋からの世田谷土地購入者は陸山会でなく、小沢氏個人が本件理解の鍵。

(3)報道によれば、石川議員(元秘書)は虚偽記載を認めた?!

虚偽記載を認める代わりに、不起訴での検察司法取引でだまされたのでないか、検察の小沢何が何でも黒の心象を世間一般に流布するには是が非でも虚偽記載の自白が必須だった検察立場を想定されたし。ともかく尋問は実質的に拷問であり(だから日本は調書作成過程可視化が必須)、子供を抱える女性秘書を9時間長期で拷問尋問した検察でもある。人は苦痛から逃れるために何でもするようになるのでないか、だとすると保釈身分になってる公判では虚偽記載否認の可能性はある。

(4)以下の図解[2]を見ると犯罪性が無い事が見える。

(5)まして政治家犯罪として本質的な贈収賄に絡む西松や水谷はウソ証言:

*西松事件の大久保被告、無罪の可能性高まる(2010年01月13日)

<http://www.the-journal.jp/contents/info/2010/01/181900.html>

*福島県前知事=佐藤栄佐久氏が語る:“地獄”から生還できた(上下).

2010/01/27「ゲンダイ的考察日記」より転載<水谷建設の検察脅迫での偽証>

<http://octhan.blog62.fc2.com/blog-entry-1198.html>

<http://octhan.blog62.fc2.com/blog-entry-1199.html>

(6)2/4日検察不起訴声明に至るまでのNHK-大新聞、放送の小沢攻撃一色の

報道な一体何なのだ!!、国民の大規模だましが明白化、次はマスコミ仕分けだが元凶である記者クラブ独占報道体制解放を従来より提唱は小沢氏、

(7)最終的な鍵は日本民主化を米オバマ政権-CIAが暴力転覆しない事のみだろろう!!!

